

五、小川組發支原由

小川組配下職二中約二十名ハ徑來東京録二組合ニ加  
盟ニ依リ組合主事 原虎一ノ指導ニ依リ本月十  
四日 爲メ休業中ノ生活保証方ヲ會社ニ要求シ本月  
十四日 會社ヨリ去勤シテ任事トキ場合ハ日給ノ半額  
ヲ支給スルニトナリ 因海解決シタルガ其後組合員  
等ハ川端組山組經理素戔ニ対シ親方制及撤廢ヲ好相  
トシテ組合加入ヲ勧誘シ約百三十名ノ加入者ヲ得タ  
ルヲ以テ一舉ニ貫徹セシト歎息書ヲ提出スルニ至レ

六、要亦事理

親方制及撤廢

七、交渉状況

六月十八日小川組小倉直英・小川又四郎 田沢政三助

長島國右・中島弥作 野中豊一、 波本井又四郎

新宮森尾

山日組 久保久徳造 菊日春吉

川端組 佐三 小井土

二十名ハ會社ニ去頭遠藤孝之ト會見 経業員一同ノ  
名ヲ以テ前項要求事項ヲ提出シ来ル二十三日迄ニ撤  
廢ノ可否ヲ御回答サレ度ト歎息シテ退出シタルガ本  
月十九日 會社側代表遠藤孝之ハ職ニ代表波本井又四郎  
以下十名ヲ招致シ諸君ノ歎息ハ要求アリ且二十三  
日迄ニ回答方ヲ迫ツテ居ルガ會社ニ於テハ親方制取